

万博「絆」Kizuna 通信

Vol. 11

2024年7月3日 発行

再生

私たちはサントメ・プリンシペの現在の生活や文化、国の主要テーマであるプランテーションなどを世界にアピールしたいと考えており、大阪・関西万博はそのための非常に良い機会です。私たちの国はアフリカの赤道にあり、プリンシペ島はユネスコの生物圏保存地域にも登録されています。その取り組みなども知ってもらいたいと思います。



サントメ・プリンシペ政府代表
Hamilton Cruz氏

カナダは大阪・関西万博の大成功に期待を寄せており、大阪が世界を迎え入れる2025年4月13日へのカウントダウンに胸を躍らせています。大阪・関西万博は持続可能性をテーマにしていますが、それと同時にこのグローバルイベントに参加する全ての国・地域・機関がそれぞれのベストを披露する機会でもあるのです。



カナダ政府代表
Laurie Peters氏

COME BUILD THE FUTURE

大阪・関西万博は、間違いなく日本にとって重要なイベントであり、その一翼を担うことは英国にとって本当に重要なことです。私たちのパビリオンのテーマは "COME BUILD THE FUTURE" で、大阪・関西万博は、世界中から人々が一堂に会し、国際的なコミュニティとして何が出来るかを一緒に考える重要な機会だと考えています。私たちはその機会をととても楽しみにしています。



英国政府代表
Carolyn Jayne Davidson氏

「生命」、「地球」、「人間拡張」

大阪・関西万博は2025年4月13日に開幕し、日本の人々はワクワクしながらパビリオンを訪れるでしょう。そして、万博で開催されるテーマ・ウィークの期間中に公式参加者と日本社会は世界をより良い場所にするためのプロジェクトと一緒に取り組むでしょう。私はそれらに大きく期待しています。



スイス政府代表
Manuel Salchli氏

~~~~~今週の週報の内容~~~~~

1. 海外パビリオンの状況

- 6/25,26 IPM2024 Summer開催
- 6/24 UAE起工式
- 6/24 ブルガリア起工式
- 6/24 チリ パビリオンイメージ発表
- 6/24 北欧パビリオン名・コンセプト発表

2. 先週の主な活動／今週以降の予定

- 6/24 大商、大阪の食の魅力をSNSで発信開始
- 6/26 バンダイナムコホールディングス、パビリオンに実物大ガンダム像の展示を発表
- 6/26 北東工区の大屋根リング工事完了
- 6/30 大阪・関西万博工事見学ツアー開催
- 7/1 EXPO 2025デジタル・ウォレットサービス稼働
- 7/2 EXPOサービスクルー最終応募者数発表

3. 販売・募集の状況

- チケット販売: 297万6414枚 (6/26 現在)

各国と共創する万博!

7月7日は七夕。織姫（こと座のベガ）と彦星（わし座のアルタイル）が1年に1度だけ、天の川で会える日とされています。

今週の大阪・関西万博 **週報** (6/25～7/1)
 ～ 開催まであと**285**日です! ～



1. 海外パビリオンの状況

□ 6/25(火)～26(水)、「国際参加者会議 2024 年夏(IPM(International Participants Meeting) 2024 Summer)」を奈良県コンベンションセンターにて開催。約160の公式参加国と国際機関の代表者約600人が出席。(自見大臣が会合初日に参加。)

万博準備の重点が「建設」から「運営」にシフトする中で、今後のパビリオン出展にあたって、テーマ毎に様々なセッションが開かれ、博覧会協会から幅広く情報提供を行うとともに、各参加者との意見交換が行われた。

終了後の記者会見で、スイスほか4か国の政府代表から「活発な意見交換ができたことを評価したい」「異なる文化を持つ人が集うのが万博のスピリットであり参加国として貢献していきたい」といった肯定的な発言が相次いだ。ケルケンツェス博覧会国際事務局(BIE)事務局長から「素晴らしい IPM になったことを称えたい。メディアも我々のメッセージの伝達に貢献してくれている」との発言あり。



写真：公式参加者の陳列区域代表、自見万博担当大臣、ケルケンツェス BIE 事務局長ほか

【プレスリリース】 <https://www.expo2025.or.jp/news/news-20240627-06/>

□ 6/24(月)、UAE が起工式を実施。農業廃棄物から作られたヤシの木という UAE 由来の素材と日本の木造建築技術を組み合わせて建築。ヘルスケア、宇宙、持続可能性といった分野におけるイノベーションや研究開発の成果を展示する。



写真：起工式の様子、パビリオンイメージ <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000007.000118196.html>

□ 6/24(月)、ブルガリアが起工式を実施。鉄骨造の地上二階建てで、大和リースが施工、小林・楨デザインワークショップが設計を担う。



写真：起工式の様子、パビリオンイメージ https://www.daiwalease.co.jp/news/news_5016.html



□ 6/24(月)、チリがパビリオンイメージを発表。“We care”（我々が関心のあること）をテーマに、イースター島の文化、綺麗な空などチリの魅力を発信。伝統的な織物を展示し、ワインなどの食文化が楽しめるエリアも設置する。



写真：発表会の様子、パビリオンイメージ チリ大使館提供・経済産業省撮影

□ 6/27(木)、北欧パビリオンがパビリオン名とコンセプトを発表。パビリオンの名称を「ノルディック・サークル」と命名。北欧諸国と日本、その他の国々と新たなつながりを築き、持続可能な発展を目指すビジョンを表している。



写真左：<https://www.thenordics-exposaka.com/news/concept-expo>

写真右：パビリオンイメージ <https://www.thenordics-exposaka.com/media-bank>

【現在の参加国等の状況】(6月28日現在)

- ・公式参加契約締結国数：120 개국
- ・敷地を引き渡した国：43 개국

- ・施工事業者が決まった国：41 개국
- ・着工済みの国：32 개국

2. 今週・先週の主な活動／今週以降の予定

□ 6/24 (月)、大阪商工会議所は、(公財)大阪観光局、(一社)大阪外食産業協会とともに、SNS を活用して大阪の多様な食の魅力を国内外に発信する取り組みを開始。キャッチコピーは「くうぞ、万博。」。

第一弾として、府内の飲食・食品関係事業者に「万博 (Expo)」をテーマとしたメニューの考案を呼びかけ、考案したメニューを撮影して自社 Instagram に投稿するとともに、店舗で提供・販売してもらう取り組みを行う。

【プレスリリース】

<https://www.osaka.cci.or.jp/expo2025/files/article/file00000088.pdf>



▲イメージ:
70年万博にちなんだ
「アメリカ館の月の石
ハンバーグ」
(画像提供: 榊初亀)



□ 6/26 (水)、(株)バンダイナムコホールディングスは、万博に出展するパビリオンに実物大ガンダム像を展示することを発表した。高さ約17mの静止像で、関西エリアに設置されるのは今回が初めてとなる。



日中/夜間のイメージパース

【プレスリリース】

https://www.bandainamco.co.jp/files/WEBE794A820240626E4B887E58D9A_E382ACE383B3E38380E3.pdf



□ 6/26（水）、会場内「北東工区」（大林組等が担当）での大屋根リングの組立工事が完了。6/7には「西工区」（竹中工務店等が担当）の組立工事が完了済み。残る「南東工区」の組立が完了すれば、大屋根リング全体が輪として繋がる予定。（本年秋頃を予定）



（出典）大林組 HP：https://www.obayashi.co.jp/news/detail/news20240626_1.html

□ 6/30（日）、初めての「大阪・関西万博工事見学ツアー」を開催。2歳から79歳までの幅広い年代の143名が参加。実際にリングにあがり、そこからの壮大な眺望や木の匂い、会場全体の雰囲気を経験。一部の回では、自見大臣、吉村大阪府知事が参加者をお出迎え。次回は7/28（日）に開催予定。



□ 7/1（月）、会場内のキャッシュレス対応の基盤となる「EXPO 2025 デジタル・ウォレット」サービスを本格的に稼働。電子マネーの「ミyakペ!」、ポイントの「ミyakポ!」、万博独自のNFTである「ミyakーン!」などの金融連携サービスを開始。デジタル・ウォレットの利用状況に応じて特典が得られる「ミyakミyak リワードプログラム」も開始。

※「ミyakペ!」とは、万博会場の内外を問わず利用可能な大阪・関西万博独自の電子マネー。会場内では「ミyakペ!」という音が鳴るコード決済に加え、「Visaのタッチ決済」や「iD」に対応した店舗で利用可能。会場外では「Visaのタッチ決済」と「iD」に対応した全国230万台を超える決済端末で利用可能。更に、「ミyakペ!」利用者は万博会場内で事前に顔情報と決済手段を登録することにより、顔認証のみで手ぶら決済が可能となる。



※「Myakupe!」とは、会期前から各協力者*のサービスで実施いただく万博機運醸成キャンペーンやSDGs関連等ポイントのプログラムでためていただいたポイントを、利用者が「Myakupe!」に交換いただくことで参加できるサービス。「Myakupe!」は、ポイント交換景品や入場チケット、会場内パビリオンでのサービス・体験などと交換が可能。

- * <協力会社> ※五十音順 7月1日時点のものであり、今後、拡大していく予定
- ・大同生命保険株式会社・西日本旅客鉄道株式会社（JR西日本グループ）
 - ・株式会社ロイヤリティマーケティング・KDDI株式会社
- <協力機関> ・岸和田市



※「Myakun!」とは、万博オリジナルNFTサービス。獲得したNFTは転送・転売が出来ない仕様となっており、利用者の記念品として利用可能。Myakun!のサービス開始を記念して、先着5,000名様限定で特別なMyakun!をプレゼント。



※「ミyakumiyakuriワードプログラム!」とは、ミyakupe!やミyakupo!の利用、万博への参加によりステータスが上がるサービス。デジタルウォレットの利用により、ステータスに応じた万博オリジナル特典を獲得でき、第1弾ではミyakun!、第2弾(10月予定)では万博会場内のオリジナル体験・サービスが獲得できる。



□ 7/2 (火)、会場内での様々なサポート業務に従事する「EXPO サービスクルー」(仮称)の最終応募者数を公表。募集人数である600人強を大幅に超過し、16,828人が応募(受付は6/30で終了)。来場者へのサービス要員として入退場ゲートやサービス施設における来場者の接遇にかかる業務を行う「コアクルー」と、会場内を巡回して来場者の案内や誘導をはじめ、困りごとのサポートに従事する「サポートクルー」から構成。

<p>案内所クルー</p>  <p>会場内の様々な情報を集約し、来場者からのお問い合わせに対応します。</p> <p>コアクルー</p>	<p>忘れ物センタークルー</p>  <p>会場内の遺失・拾得物の情報収集、受付、返却をします。</p> <p>コアクルー</p>	<p>迷子・ベビーセンタークルー</p>  <p>会場内での迷子の受付、搜索、一時保護やベビーセンター(授乳室・おむつ替えスペース)の管理をします。</p> <p>コアクルー</p>
<p>運営本部補助クルー</p>  <p>運営本部事務所に集まってくる情報の集約、記録、電話対応など庶務をします。</p> <p>コアクルー</p>	<p>エントランスクルー</p>  <p>会場の入り口で来場者のお出迎え、お見送りをします。お客さまに一番最初に接する仕事です。</p> <p>コアクルー サポートクルー</p>	<p>会場巡回クルー</p>  <p>会場全体の巡回や、来場者の案内誘導をします。動く案内所として様々なお問い合わせに対応します。</p> <p>コアクルー サポートクルー</p>

出典：協会 HP (<https://servicecrew.expo2025.or.jp/>)

3. チケット販売の状況

◇ チケット販売枚数 : 297万6,414枚 (2024年6月26日現在)

4. 報道等での主要な指摘事項と事実関係

(1) 紙チケットの販売について

指摘事項

■ 紙チケット導入が決定されたとのことだが、会場運営に支障をきたすことはないのか。

【事実関係】

- スマホに慣れない層、気軽にチケットを購入したい層、チケットを誰かにプレゼントしたい層を掘り起こす観点から、紙チケット/引換券の販売を調整中。
新たに導入する紙チケットでは、購入後、WEBで万博IDを登録して来場日時予約が可能となるほか、予約なしでも除外日時以外はそのまま入場可能とする予定。
- 来場者や周辺住民の安全・利便のため、交通制約とゲート前制約の観点を踏まえ、予約なしの入場は交通機関・ゲート前が混み合う朝の時間帯や多くの来場が見込まれる日・時期は不可とすることが必要と認識。
- 導入に向けて、会場の予約・混雑状況、交通機関の混雑状況などの周知方法の検討、各交通機関における不測の事態に備えた対応の検討のほか、学識経験者・行政機関・関係団体などで構成される「来場者輸送対策協議会」での説明・了承が必要。

(2) 夢洲でのヒアリの発生について

指摘事項

■ 夢洲でヒアリが大量発生しているが、危険はないのか。

【事実関係】

- 環境省の大阪港における定期調査の結果、大阪市の夢洲（ゆめしま）のコンテナヤードで、ヒアリが発見（6/25）。
- 環境省によると、我が国でのヒアリの発見は、今年度6例目。 ヒアリが見つかった地点は、万博会場の外の一般の方が立ち入ることのない港湾のコンテナヤード内。
- 発見されたヒアリは全て駆除済みだが、引き続き、環境省において、確認地点及び周辺におけるモニタリングを実施していく予定。

(3) 硫化水素の発生について

指摘事項

- 万博会場で硫化水素が発生しているが、開催に問題はないのか。

【事実関係】

- 大気中に放散された硫化水素は大気中で希釈されており、屋外に設置されているガス引き抜き管の直上部を除いて、現時点で、そうした硫化水素由来の異臭があるとの報告には接していない。なお、会期中のガス引き抜き管は、来場者がアクセスできない場所に設置することとしている。
- 安全面では、6月24日に博覧会協会が、メタンガスのみならず、硫化水素等が発生していることも踏まえた安全対策として、
 - ・ グリーンワールド工区内の建物について、機械換気設備による強制換気やガス検知器の設置
 - ・ パビリオンワールド工区も含む会場全体のガス濃度測定の継続実施と測定値の公表などを行うことを公表済み。
- 多くの方々に安心して万博会場にお越しいただけるよう、安全対策に万全を期して取り組んでいく。

(4) 工事見学ツアーでの撮影規制

指摘事項

- 工事見学ツアーの撮影制限が厳しすぎるのではないのか。

【事実関係】

- 万博の工事現場における写真撮影とSNS投稿については、
 - ・ 建設中のパビリオンが公開されることで、各パビリオンの計画的なPRに影響を与えうること、
 - ・ 躯体構造や間取り・資機材等が公になることでセキュリティ上の問題が生じる可能性があること、
 - ・ 停車している工事車両の所有企業が特定され当該企業の取引関係が明らかになるなど、各施工者に不測の損害等を与える可能性があること、などから、撮影する方向や対象物に一般的に制限を設けた必要があった。
- ツアー参加者の皆様の希望に応じて、参加者のカメラを借りてスタッフが問題ない形で撮影。これらの写真は、参加者のSNSでの発信などにも活用いただいているところ。